

実施日：6月12日（1校時）	
領 域：道徳	
取組名：携帯トラブル	
対 象：1年	実施場所：1年各教室
ア ねらい インターネットや携帯電話の情報に安易に振り回されないことや、トラブルに巻き込まれない使い方について考える。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや携帯電話によるトラブルの学校の現状を捉えながら、話をする。 ・ 資料「今、困っています…」を配布し、5つの事例から自分が身近に思える例を1つ選んで、どのように対応すればよいか解決策やアドバイスを考える。 ・ 最初は1人で考えて、用紙に記入する。 ・ まったく書けない生徒がいれば、寄り添って具体的なアドバイスをする。 ・ 同じ番号を選んだ者同士で集まり、解決策やアドバイスと対策をまとめる。 ・ まとめたものを発表する。 ・ 同じ番号を選んだメンバーで、感想や気づいたことを話し合う。 	
ウ 連携先：校区の3小学校	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践の結果を各小学校に情報提供するとともに、小学校からの問題点を交流することで、携帯電話に起因するトラブルの未然防止対策となった。 ・ 携帯電話の使い方について、小学校段階で指導しておいてもらいたい点について協議することで、各校の系統立てた指導計画にも取り入れてもらい、小中間のスムーズな連結の対策のひとつとなった。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に推進委員会で、資料にある5つの事例から、どのように1つを選択させるか、その基準となる指導について検討する。 ・ 生徒の感想[別紙②]や気づいたことについて推進委員会で評価することで、今後の生徒指導上の実践的資料として、また、教員全員の共通理解の視点で個に応じた指導に活用する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒にワークシートを書かせ、その内容について評価した。 ・ 生徒の発言内容から評価した。 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の使用によるトラブル（人権侵害事象等）の発生防止に向け、使い方について深く考えることができた。 ・ 自分の課題としてとらえられるようになった。 ・ 話し合いの過程で出てきた自分の考え、他者の意見について理解ができるようになった。 ・ お互いを認め合う「共生社会」への取組ができた。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での感想や気づいたことを、実際の生活に生かすことができるようになるために継続的な指導が必要である。 ・ 今回の取組からさらに進んで、道徳領域として、小学校や地域との効果がある連携の取組過程において、交流しきれなかった部分（意見の相違部分）についての点検、検証を考える必要がある。 	